Allison’s San Diego 宣教報告

OMF / Morioka Bible Baptist Church　Allison M Smith



神様が人々をご自身の元へと導き、また、より大きな信仰者の家族の一員として私たちをつないでくださっていることを目の当たりにできるのは、本当に大きな恵みです。

今回の短期宣教旅行を通して、神様が日本とサンディエゴの両方で働いておられることを、また一つ垣間見ることができました。チームのメンバー一人ひとりと知り合い、彼らの信仰の強さを見ることができたことを嬉しく思います。参加者の多くが大学生でしたが、神様が必要を備えて下さることを信じて、神様が世界で何をなさっておられるかをさらに知るために、自分の国を出る決心をした姿に励まされました。

今回の旅は、私が大学生の時初めて日本を訪れたことを振り返る機会にもなりました。神様は当時、その旅を用いて、日本の人々が神様とその愛を知ることができるようにという思いを私の心に与えてくださいました。それがやがて、私が日本に戻ってきてフルタイムで仕えることにつながりました。

私の願いは、日本でより多くの人々が神様を知るようになることだけではなく、日本のクリスチャン達が信仰に生き、他の人々にもそれを分かち合っていくようになることです。今回のチームメンバーがそれを実践している姿を見ることができたのは、本当に素晴らしかったです！　神様がこれからもこの旅行を彼らの人生の中で用いてくださり、ここで学んだことをそれぞれの教会へ持ち帰って、さらに分かち合っていくことを楽しみにしています。

サンディエゴでは柏倉先生の働きに励まされました。私たちを温かく迎え入れ、二週間にわたって親切にしてくださった兄弟姉妹たちの存在も、大きな恵みでした。柏倉先生は、サンディエゴの地域の人々に福音を伝え、地域社会に積極的に働きかけたいという強い思いを持っています。

その一つの表れが、私たちがバルボア・パークに遊びに行った時の出来事です。柏倉先生は、そこにいた若者たちが日本語を話しているのを聞き、すぐに声をかけに行きました。翌日の夜の予定がキャンセルになったので、彼らを夕食に誘い、一緒に短い聖書の学びをしようと提案しました。彼らが興味を持ってくれるかどうかは分かりませんでしたが、なんと五人も来てくれました！

私たちはゲームをして楽しく過ごした後、一緒に夕食をいただきました。食事の後、柏倉先生が聖書から短い話を分かち合い、その後、小グループに分かれました。私のグループにいた女の子は、神様や信仰について本当に良い質問をたくさんしてくれました。そのおかげで、チームの二人のメンバーと私は、神様について、また自分たちの証しの一部を分かち合うことができました。

後になって、柏倉先生の奥様の晴香さんが、私たちがバルボア・パークで出会い、福音を分かち合うことのできる人々に会えるように祈ってくださっていたことを知りました！祈りが目に見える形で答えられたことに、私たちは本当に驚き感動しました。私のテーブルにいた女の子は、英語の練習のためにオンラインで会うことにも興味を持ってくれています。

OMF / Morioka Bible Baptist Church　Allison M Smith

数週間後には、チームメンバーと一緒に彼女と会う予定です。そのとき、短い聖書の学びか、聖書の話を分かち合えたらと願っています。

バルボア・パークでの出来事を振り返って、もしかしたら私たちはこの機会を逃してしまったかもしれない、と強く思わされました。というのも、私たちは駐車料金が無料になる三十分前に駐車場に到着したのですが、私はチームの会計担当だったので、たった三十分のために四時間分の駐車料金を払うのは無駄に思え、「いったんここを離れて、三十分後に戻ってきたらいいのではないか」と考えたのです。

後になって、もし私が「これが一番良い」と思った通りにしていたなら、私たちは同じ場所に、同じ時にいることはなく、おそらくその学生たちに出会うこともなかっただろうと気づきました。私には無駄に思えたことが、実は神様の完全なタイミングの一部だったのです。※補足※柏倉先生とデイビッドは、チーム全員を再び車に乗せて別の場所へ移動しなければならなくなるというリスクを考慮しました。特に当日はイベント当日であったため、30分以内に戻ってこられるかどうかも不確実でしたし、仮に戻ってこられたとしても、再びこの駐車場に停められる保証もありませんでした。この駐車場は、初めて訪れる人にとって最も利便性が高く、チームを混乱させずに済む場所でもあったからので、この駐車場を利用したかったのです。こうした事情を総合的に判断し、彼らは「今回は仕方ない。料金を支払おう」と決断したようでした。



この旅行を通して、私は自分自身の考え方や原則を見直すようチャレンジを受けました。そして、一見すると物事が最も効率的に進んでいないように思える時でも、神様が必要なものを備えてくださることを信頼できるのだと教えられました。私は時々、目の前の小さなことに気を取られ、神様が見ておられる大きな全体像を見失ってしまうことがあります。

また今回の旅行は、日本人の視点からアメリカ文化について考える機会を与えてくれただけでなく、日本文化についての私自身の理解をさらに深める機会にもなりました。今回経験した様々なチャレンジや励ましを通して、神様が人々をご自身の元へ導くために、本当に多くの方法で働いておられることを改めて知ることができました。

すべては神様の誉れと栄光のために――サンディエゴで、日本で、そして世界中で、神様は今も働いておられます。



